

令和元年度事業報告書

特定非営利活動法人DOG DUCA

1 事業の実施の概略

特定非営利活動法人DOG DUCAは、愛知県内の名古屋市を中心に地域社会に対して犬の保護と里親探し、人と犬との共存生活に関する事業を行い、衛生問題や飼育拒否等の問題の改善や解決を図り、犬を飼う方のモラルの向上と、人と犬のより良い共存生活の増進に寄与することを目的とし、次の事業を実施した。具体的には、本法人の定款第5条第1項第1②の事業として、犬の保護と里親探し事業及び第1号③の事業として、犬の適正なしつけ指導と普及と啓蒙事業を実施した。

2 事業の成果

令和元年度においても、「動物愛護」「命の尊さ」「命の大切さ」について小中学校をはじめ、高校、大学及び企業などの各所で講演を行う機会がありました。「自分さえよければいい」「誰でもよかつた」など身勝手な理由により子供、高齢者、犬等が犠牲になってしまう世の中、様々な理由により飼育拒否・虐待・殺処分されてしまうことに対し、犬の保護を通じて特定非営利活動法人DOG DUCAだからこそ出来ることまた、伝えられることを命題に、今期も活動に力を入れてきました。

犬の飼育拒否を含めた相談が126件ありました。そのうち58頭については、個々に抱える問題解決を助けるとともに、飼い主の意識改善を行い、飼育拒否になることなく現在も生活を共にすることが出来ています。残りの68頭については、特定非営利活動法人DOG DUCAにて保護をしました。今期は特に、飼い主の入院・死亡等により何か月も放置され餓死寸前の状態での保護が多くありました。これは、地域社会の高齢化により今後も増えていくと思われます。このようなケースでは、引取り手が現れず里親譲渡が難しい状況になってしまっており当法人で常時20頭以上保護中であります。

犬の適正なしつけ指導と普及と啓蒙活動については、教室への参加人数が120家族でした。参加されたご家族には、個別に問題ケースが異なるため、10頭10色の教え育てる「しつけ」により、問題行動について犬と人が一緒にになって解決することが出来ました。

メディアでの露出については、とくに「天才！志村どうぶつ園」のアイドルグループ嵐の相葉氏による、「保護犬シャンプー企画」への参加の反響が大きく、この番組を通して特定非営利活動法人DOG DUCAが地域社会の多くの方に「手厚い保護活動をしている団体」と認めて頂いた一年でした。その放送後、これまでより若い世代が保護活動に参加するようになり、様々な世代に「動物愛護」について発信できた結果となりました。

名古屋市は、これで4年間の「殺処分ゼロ」を達成していますが、飼育拒否の減少だけではなく、保護をする団体窓口が増えているのも現状だと思われます。人と犬との共存、動物愛護の精神が広まることはよいことですが、これと同様に様々な理由で犬を飼えなくなる飼い主もあり、その飼い主も「殺処分だけはしたくない」という思いがあるため、特定非営利活動法人DOG DUCAのような相談に乗れる団体があり、また必要不可欠であると思います。そのため、これからも愛知県内の名古屋市を中心に地域社会に対して、犬の保護と里親探し、人と犬との共存生活に関する事業を行い、衛生問題や飼育拒否等の問題の改

善や解決を図り、犬を飼う方のモラルの向上と、人と犬のより良い共存生活の増進に寄与することを目的とし、翌年度以降も事業にまい進していきます。

3 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

ア 犬の適正なしつけ指導と普及と啓蒙事業

(ア) 事業内容

犬の適正なしつけ指導を通じて、地域社会でのマナー・モラル向上を深めるとともに、飼育拒否等の問題の現況、解決に向けた犬と人とのより良い共存生活講座を、もりやま犬とねこの病院において、一般市民を対象に無料で開催した。

(イ) 開催日時

もりやま犬とねこの病院開催・・・平成31年1月1日～令和元年12月31日の内、
毎月約1回で年間12回

(ウ) 会場

もりやま犬とねこの病院

(エ) 講師及び従事者

講師高橋忍(本法人の理事)、会場設営・受付要員1名(DOG DUCA職員)

(オ) 受講者

120家族(犬の飼育拒否や犬の地域社会問題に关心を持ちそのモラル向上と普及及び啓蒙活動に关心のある一般市民)及び犬

(カ) 費用

151,428円

(内訳)

資料コピー代31,428円、講師及び会場設営・受付要員旅費(延べ48名)120,000円

(キ) 収益

22,284円

イ 養護施設等でのアニマルセラピー事業

(ア) 事業内容

犬の処分問題に対する地域社会の理解・知識を広めるため、また高齢者入居施設への訪問を行い、社会福祉を通じて犬の社会貢献を推進する事業。

(イ) 開催日時

本年度の活動なし

(ウ) 会場

(エ) 講師及び従事者

(オ) 参加者

(カ) 費用

0円

(キ) 収益

0円

ウ 犬の保護と里親探し事業

(ア) 事業内容

捨てられて殺処分される犬を保護して預かり、地域社会を通じてその現状を発信することにより新しい里親を探し、人と犬とのより良い共存生活が可能な社会を再構築する手助け事業を、経常的に無料で行った。

(イ) 開催日時

平成31年1月1日～令和元年12月31日まで常時

(保護犬が里親へもらわれていくまで)…相談数126件、里親への譲渡頭数68頭

保護中の頭数20頭 合計88頭

(ウ) 会場

DOG DUCA事務所及び高橋忍(本法人の理事)自宅、里親預り会員各自宅

(エ) 講師及び従事者

高橋忍(本法人の理事)、DOG DUCA職員、里親預り会員98名

(オ) 対象犬

相談・保護された犬126頭(NPODOGDUCAにて引き取り:88頭)

(カ) 費用

1,943,616円

(内訳)

資料コピー代31,428円、動物病院代(年間)830,344円、トック'フート'代(年間)
442,804円、里親旅費(延べ48名)120,000円災害修繕支援金431,000円、施設利用料
36,200円、その他51,840円

(キ) 収益

0円

③ 会議の開催に関する事項

平成31年2月26日 社員総会